



令和7年7月28日

国際生物学オリンピックに参加した生徒全員が銀メダルを獲得しました
また、国際的な科学技術コンテストで特に優秀な成績をおさめた生徒に対する
文部科学大臣表彰の受賞者を決定しました

文部科学省では、国立研究開発法人科学技術振興機構を通じて、国際的な科学技術コンテストに参加する若者を支援する事業を実施しております。このたび「第36回国際生物学オリンピック（主催国：フィリピン共和国）」に参加した生徒全員が、銀メダルを獲得したとの連絡を受けましたので、報告いたします。

また、文部科学省では、国際的な科学技術コンテストにおいて、特に優秀な成績をおさめた者等に対して文部科学大臣表彰等を行っており、このたびの成績を踏まえ、受賞者を決定しましたので、併せてお知らせします。

（共同発表：国際生物学オリンピック日本委員会）

1. 受賞状況：銀メダル4名

（上記4名が文部科学大臣表彰を受賞する。）

※金メダルは参加者の約1割、銀メダルは約2割、銅メダルは約3割の割合で与えられる。

2. 参加者および受賞者詳細：

たかやま かほ 高山 歌歩 さん	洛南高等学校（京都府）	1年	銀メダル
たけのうち りょうすけ 竹之内 涼介 さん	開成高等学校（東京都）	3年	銀メダル
まるたに いたる 丸谷 周 さん	筑波大学附属駒場高等学校（東京都）	3年	銀メダル
おおしま ひろき 大島 寛生 さん	埼玉県立大宮高等学校（埼玉県）	3年	銀メダル

3. 参加国数/人数：79か国・他/305名

4. 場所 / 期間：フィリピン共和国（ケソン）/
令和7年7月20日（日）～7月27日（日）

5. 派遣機関：国際生物学オリンピック日本委員会（JB0）

（お問合せ先）

文部科学省科学技術・学術政策局人材政策課 徳永、森澤

電話：03-6734-4191（直通）

国際生物学オリンピック日本委員会 事務局

電話：03-3212-8518

◆大会概要

- 国際生物学オリンピックは1990年に現在のチェコ共和国で第1回大会が開催された。
- 2025年のフィリピン共和国大会は、第36回目。
- 日本は、2005年から参加を開始し、毎年4名の選手を派遣。本年は21回目の参加。
- 昨年のカザフスタン共和国大会は、81か国・地域から295名の生徒が参加し、日本は4名全員が銀メダル受賞。
- 本年のフィリピン共和国大会は、79か国・他から305名の生徒が参加し、日本は4名全員が銀メダル受賞。

◆日本代表団（参加生徒）の日程

- 7月20日（日） 代表団到着、大会登録、開会式
- 7月21日（月） エクスカーション
- 7月22日（火） 実験試験
- 7月23日（水） 交流イベント
- 7月24日（木） 理論試験
- 7月25日（金） エクスカーション
- 7月26日（土） 閉会式
- 7月27日（日） 代表団現地出発

◆国際生物学オリンピックにおける過去3年間の日本代表の成績

2022年（第33回 アルメニア・エレバン大会）

金メダル1名、銀メダル1名、銅メダル1名、優秀賞1名
（参加規模：62か国・地域、237名）

2023年（第34回 アラブ首長国連邦・アルアイン大会）

金メダル2名、銀メダル2名（参加規模：80か国・地域、304名）

2024年（第35回 カザフスタン共和国・アスタナ大会）

銀メダル4名（参加規模：81か国・地域、295名）

◆国際生物学オリンピック（International Biology Olympiad）

国際生物学オリンピック（IBO）は、1990年に現在のチェコ共和国のオロモウツで第1回大会が開催された、生物学に関心を持つ高校生等を対象としたコンテストであり、以下を目的としている。

- a) すぐれた生徒を一堂に会させて、刺激をあたえ挑戦させることにより、その能力をのばし、科学者にそだてる。生物学の美しさと様々な意義を明らかにして、とりわけ自然や環境の保護をはかり、社会における生物学の重要性を訴える。
- b) 生物学教育に関するアイデアと教材の交換や比較を行うことにより、各国の生物教育を向上させる。
- c) 国際生物学オリンピックにかかわるさまざまな組織の交流を図ることにより、生物学分野での活動の相互理解をはかる。

国際大会は、毎年7月に開催され、実験問題と理論問題が課される。
今年度の「第36回国際生物学オリンピック2025 フィリピン共和国大会」(IBO 2025)
の詳細は IBO 2025 公式サイトを参照。(https://www.ibo2025.org/)

◆国際生物学オリンピック日本委員会 (Japan Biology Olympiad Committee)

国際生物学オリンピック日本委員会 (JBO) は、国際大会に派遣する日本代表選考を兼ねた日本生物学オリンピックを開催している。日本生物学オリンピックは単に代表選考のためだけではなく、生物学の持つ面白さ楽しさを体験してもらうことを目的とする全国規模のコンテストであり、20歳未満で大学に入学する前の青少年であれば誰でも参加可能である。生徒らが積極的にチャレンジできるよう、予選ではオンライン試験を導入している。

この活動を通じて我が国の生徒に対し、生物学への興味の喚起と知識の普及を図りつつ、広く科学技術一般への関心の向上と理解の増進を推し進めるとともに、国際大会への参加体験が、将来の科学技術を支える人材の育成にも役立つことを期待している。さらに国際的な研究者・教育関係者の交流により、我が国の生物教育の充実・発展に寄与することを目指している。

◆本参考資料に関するお問合せ先

国際生物学オリンピック日本委員会 事務局
電話：03-3212-8518